

令和7年度 第3回 社会教育委員会議 議事要旨

会議の名称	令和7年度 第3回 社会教育委員会議		
開催日時	令和8年3月13日（金） 18時00分から19時30分まで		
開催場所	広陵中央公民館 大会議室		
出席委員の氏名及び人数	田畠美知香 議長、阪口充弘 副議長、羽野雅也 委員、河村円 委員、吉村真知子 委員、梶本英男 委員 <u>計6人</u>		
出席職員の職、氏名及び人数	教育長 植村佳央 教育振興部長 倉田洋子 生涯学習課：課長 岸本延昭、主幹 名倉聡、係長 中井佳江 主任 細見周世 スポーツ振興課：課長 南雄太郎 図書館：館長 尾藤肇子 <u>計8人</u>		
公開・非公開の別	公開	傍聴者	0人
議題			
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和7年度事業報告について (2) その他 5 事務連絡等 			
会議の記録（要旨）			
発言者	発言要旨		
1 開会			
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配付資料確認 		
2 議長あいさつ			
議長	<p>参会謝辞。 先日、世代間交流事業としてウォークラリーをさせてもらった。天候が心配であったが、何とか無事に終えることができた。 昨年、教育長が仰っていた「天気が良ければ8割成功」という言葉を思い出し、7割ぐらい成功であると思っていたが、たくさんの方に協力をいただいたことに感謝申し上げます。 サントユニット株式会社で購入した靴下はととても肌触りが良く、やっぱり広陵町の靴下は違うなと感じるとともに、予想を大幅に上</p>		

	<p>回る人数の応募があり、安全な運営のため、参加いただけなかった方には大変申し訳なく思っている。</p> <p>来年度については、真美ヶ丘地区ということで、在来地区とは違って歴史は浅いが、綺麗な公園がたくさんあり、住みやすいまちだと思っているので、趣向を変えて楽しい企画を考えていきたいと思っており、ご協力をお願いしたい。</p> <p>こんな素敵なものを用意いただいた事務局にも感謝申し上げます。</p>
3 教育長あいさつ	
教育長	<p>参会謝辞。</p> <p>今年度の世代間交流事業については、市町村対抗子ども駅伝と重なっていたため、参加することができなかったが、事務局からの報告を受け、参加者には大変喜んでもらったのではないかと感じている。</p> <p>本日は、各課から令和7年度の事業報告について、説明させていただくので、ご意見のほど、よろしくをお願いしたい。</p>
4 議事	
(1) 各課事業報告について	
議長	<p>次第に従って議事を進めるので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>議題の1番、「令和7年度事業報告について」を事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>資料1-1「第64回広陵町文化祭開催結果」</p> <p>資料1-2「令和8年広陵町二十歳のつどい開催結果」</p> <p>資料1-3「令和7年度生涯学習セミナー開催結果」</p> <p>資料1-4「令和7年度世代間交流事業」</p> <p>資料1-5「令和7年度広陵町文化財ガイドの会活動実績」</p> <p>資料1-6「令和7年度埋蔵文化財発掘調査等実績」</p> <p>に基づき説明。</p>
議長	<p>事務局からの説明について、質問や意見はあるか。</p>
委員	<p>文化展覧会の受付をしている際に、「今年度は淋しいな」という声を複数聞いた。</p> <p>また、園児作品展についても、展示されていない園があったり、5歳児の作品のみの展示となっていたが、なぜそのようなになっているのかなと個人的に疑問を持っていた。</p> <p>文化祭に現役世代の参加者や来場者が少ないというのは、課題として毎年挙がっているが、自身の娘を見ていると、日々の生活に追われており、文化や趣味に時間を使う余裕がないと感じる。</p> <p>そのような状況で、来場される方を増やすには、こどもの作品が展示されているなどのきっかけが必要であり、中学生の作品は展示されているが、そうしたものをより増やせば効果が出るのだろうかと考えたりする。</p>

事務局	<p>主催者側として初めて文化祭の運営に携わり、文化展覧会については、文化協会の意向が強いと感じた。</p> <p>園児作品展を格技場ではなく、中央体育館のアリーナで文化展覧会とあわせて実施できないかと検討したが、文化協会からは出展者の作品を良く見せるため、レイアウトは変更したくないという意見が多く、実施には至らなかった。</p> <p>作品を良く見せたいという気持ちは理解できるが、出展者の高齢化が進んでいる現状では、何かを変えていかないと衰退する一方であると事務局では考えている。</p> <p>作品数についても、一人当たりの出展数における上限を撤廃すれば、短期的には増加が見込めるが、単に作品数を増やすことに意義があるのかとなると、そういう訳ではないかと思うので、中央公民館の主催教室を受講された方の作品を出展してもらうなど、文化の裾野を広げていく中長期的な取り組みを行い、総合的に変えていく必要があると感じている。</p>
副議長	<p>文化祭については、開催することが目的ではなく、文化芸術活動を披露する場として機能することが目的だと思う。</p> <p>事務局から、こどもを対象とした中長期的な事業を検討していると説明があったが、小学生や中学生は学校の授業で文化や芸術に触れる機会があり、卒業した後の20代や30代で文化芸術活動がしたいとなったときの環境づくりが必要ではないか。</p> <p>これまで、文化芸術活動の裾野を広げていくことにまで手が回っておらず、単に文化祭だけの問題ではないように感じる。</p>
事務局	<p>現状として、中央公民館における主催教室は大部分が平日の昼間に開催されており、現役世代が参加できないものとなっている。</p> <p>こういった部分を変えていくことも含めて、今後、検討していく必要があると考えている。</p>
議長	次に、中央公民館について、事務局に説明願う。
事務局	<p>資料2-1 「おしごとチャレンジデー i n 中央公民館」</p> <p>資料2-2 「令和7年度実年学級開催結果」</p> <p>資料2-3 「令和7年度中央公民館主催教室」</p> <p>資料2-4 「中央公民館再整備事業進捗状況説明資料」に基づき説明。</p>
議長	事務局からの説明について、質問や意見はあるか。
副議長	<p>再整備事業については、こういった事業を進めたいので、どのような施設が必要であるのかという視点が必要かと思う。</p> <p>こういった事業を進めたいのかというソフト面については、当会議で議論できるかと思う。</p>
事務局	<p>再整備事業については、中央公民館としての視点のほか、全町的に公共施設が老朽化している状況から、広い視野で検討していく必要がある。</p> <p>また、現在、中央公民館を利用している方だけでなく、利用され</p>

	ていない方も含めて、さまざまな意見を聞きながら進めていく必要がある。
委員	おしごとチャレンジデーについて、幅広い学年のこどもが参加しているが、5年生のみ少数となっているのはなぜか。 また、体験内容の見直しを行うとのことであったが、参加者の少ない消防やナースのことを指しているのか。
事務局	5年生のみ少数になっているのは、何らかの要因があったものではなく、偶然そのようになっているだけであると考えている。 また、体験内容の見直しについては、参加者の人数だけでなく、定員数や協力事業者が1日あたりに実施できる回数も踏まえて、検討していく予定である。
委員	主催教室について、自身に関わるスポーツの分野においても、若い方に参加してもらうのには苦勞している。 各教室の名称を参加しやすいような表現に変えてみてはどうか。
事務局	各教室の名称は、以前から変わることなく今に至っている。 はしお元気村の講座を見ると、仰っていただいたとおり、参加しやすい名称となっているものもあるため、検討していきたいと思う。
議長	次に、スポーツ振興課について、事務局に説明願う。
事務局	資料3-1「第4回広陵町スポーツフェスティバル結果」に基づき説明。
議長	事務局からの説明について、質問や意見はあるか。
副議長	資料を見ると、現役世代の割合が高くなっているが、どのように周知を行ったのか。
事務局	11月号の広報誌にチラシを挟み込んでおり、それを見た方が来場されたのではないかと思う。
副議長	それだけでこれだけの割合が集まったのは凄いと思う。 また、以前の町民体育祭と比べて、現在のイベントは家族単位で参加が多く、地域とのつながりが薄くなっているのが少し残念に感じる。
議長	次に、図書館について、事務局に説明願う。
事務局	資料4「令和7年度図書館事業報告」に基づき説明。
議長	事務局からの説明について、質問や意見はあるか。
委員	資料にある予約分貸出冊数について、西小学校だけ極端に少ない理由はあるか。

事務局	検索に必要な機械を全校児童ではなく、他の学校と比較して児童数が多いため、学年を絞って運用していたことが要因である。
	(2) その他
議長	その他、委員の皆さんから質問や意見はあるか。 (疑等なし。) ないようなので、これにて議事を閉じ、事務局に進行を戻す。
事務局	最後に、田嶋議長からご講評を賜りたい。
議長	さまざまな事業について、課題があり、事務局が大きく変えようと検討されていることが分かったので、安心と期待をしている。 次年度事業がより良いものとなることを願っている。
事務局	事務連絡の後、改めて参会への感謝を述べた後、散会。